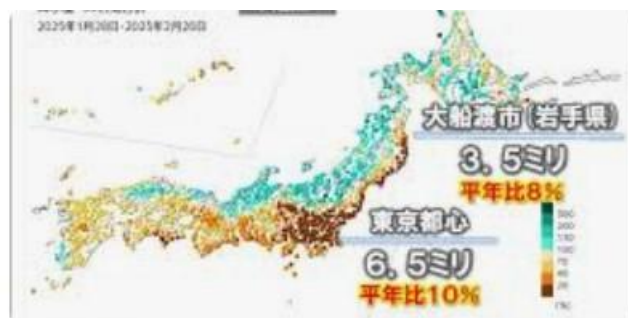


大船渡とロサンゼルスの山火事（597号）

2025年 3月 石館

岩手県大船渡市で山林火災が発生したのは、2月26日の午後1時頃であった。つい先ごろの能登半島地震、豪雨災害とも重なるのだが、急峻な山が落ち込んで入り組んだ海岸となった地域での出来事で、またしても山間部特有の被害対策の難しさがあった。



広く乾燥注意報 30日間降水量は山火事発生の大船渡市で
平年の1割 ...

今回の山火事の第一の原因は、降雨が例年の3%程度と極端な乾燥下にあったことである。また焼失面積が拡大したのは強風が続いたのと著しい風向の変化である。

そうした状況下にあるにもかかわらず、失火を起こしてしまったことに後悔がある。日本における山火事の原因は、ほぼ100%人為である。海外では、落雷とか樹木同士の摩擦による自然発火があるようだが、日本ではまず考えられない。

そうした状況下にあるにもかかわらず

大船渡市の山火事は、焼失面積2900ヘクタール、死者1人、住宅だけでも76棟が全壊、その他漁業施設などにも多大な損害を出して、3月9日、発生から11日目に鎮火した。結局人為的な消火活動では鎮火させることは出来ず、自然界の雨に頼ることになった。



大船渡の山林火災 1人死亡、3000人に避難指示 鎮火
めど立たず ...

世界で森林火災が悪化している。米国のシンクタンク報告では、山火事により年800万ヘクタール以上の森林が焼失しており東京都の約40倍の面積である。

20年前と比べ2倍近くに広がっており、火災を悪化させる原因

が地球温暖化だと指摘している。

では果たして地球温暖化だけが山火事を増大させている原因であろうか。2024年3月頃米国の保険会社が不思議な動きを見せていた。カルフォルニア州の山火事を予測していたかのように、火災保険の販売を中止したり、火災保険料を5倍以上に上げた。明らかにカルフォルニア州での火災保険ビジネスは危険だと判断したのだ。



何故保険会社はカリフォルニア州でビジネスは無理と考えたのか。カリフォルニア州の過激な環境保護団体の“トндеモ”抗議で、森林整備をまともに実施できなくなったのが大きな理由らしい。

当然行われるべき予防的処置としての野焼きや森林伐採が出来なくなった。森林整備で絶滅危惧種の被害が及ぶと思われる場合には、カリフォルニア州が定めた厳しい環境アセスメントに適応し、許可を得なければならない。また環境保護団体もその環境アセスメントを利用し、抗議してくる。役所は間伐や倒木、下草の処理をしたくても、裁判沙汰になるため整備を嫌うようになった。そのため大規模山火事がいつ発生してもおかしくなかった。

民間所有地では適度に整備・管理が行われてきたが、公有地は出来ておらず被害が拡大した。州が公有地を管理・整備しようとする環境保護団体は裁判を仕掛けてくる。役人はそんな面倒なことに関わりたくない。保護団体は伐採する木が歎いていると抗議する。

保守的なテキサス州では、カリフォルニア州と違って、有害無益な規制が少なく、森林管理が割合に合理的に行われ、結果的に大火事も起きていない。多くの森林は人の手によって管理しなければ荒廃し、いずれはしっぺ返しを受けてしまう。保険会社はその状況を把握していたと思わざるを得ない。



LA山火事で広がる大気汚染、遠方で健康被害の恐れも - CNN.co.jp

冬になるとオレゴン州、ユタ州、ネバダ州周辺の上空で高気圧が発生しやすくなる。時計回りで移動するが、2千～3千メートル級の山々に囲まれたシエラ山脈にぶつくと上昇する。そこで乾燥した風が吹き下ろされる。いわゆるサンタアナの風（フェーン現象）（と言われるものである）。

その風は通常2日程度で済むが、時には1週間以上吹き続けることがある。パシフィック・パリセーズの海岸線にある高級住宅地もすべて被災したのは、こうした特殊な現象があったためである。



【パシフィックパリセーズ】伝統的でエレガントなデザイン、精巧な ...

確かに気候変動が山火事の一原因であったかもしれないがそれにしても、カリフォルニア州で山火事は頻発するのは人災の側面もあろう。

山火事は常識的には下から上に燃え広がる。ところが今回のロサンゼルスの場合は尾根から麓に火が下りてきている。

小生も風力発電の関係で度々ロサンゼルスを訪れ、パシフィック・パリセーズの高級住宅地を通ったことがあるが、あまりの美しい町並みでおとぎの国の様だった。それが今回の山火事で、すべて廃墟になったとは信じられない思いだ。

サンタアナの風はカリフォルニアの風土に生来備わっているもので、気候変動によって悪化するという証拠は殆どない。もし悪化するのであれば保険会社はとっくに保険の引き受けを止めておるはずである。

今回のカリフォルニアの山火事は政治的インパクトが大きいのではないかと・超リベラルのカリフォルニア州でも、今回大きなやけどを負ったことで、ようやく反省するかもしれない。カリフォルニア州は民主党の牙城であったが次の選挙ではどうなるか分からなくなった。

パシフィック・パリセーズの超豪華邸宅であれ、大船渡の小さな小屋であれ、そこに住む人々のかけがえのない思い出のある住居をなくした苦しみ、悲しみは変わりなく、このような事故を二度と起こさないようにするにはどうしたら良いのであろうか。

このような壊滅的な被害が発生すると、多くの人は単純な悪者探しをするが、現実はまだ複雑であることが多い。今回のカリフォルニアの場合、気候変動は、火災の危険性を高める一因になっている可能性はあるが、強風や干ばつへの影響は乏しいため、気候変動が主な原因というわけではなさそうである。